



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月9日

上場会社名 株式会社 ムサシ 上場取引所 東
 コード番号 7521 URL <https://www.musashinet.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 羽鳥 雅孝
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 山本 義明 TEL 03-3546-7710
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	21,771	△23.2	△301	—	△199	—	△123	—
2020年3月期第3四半期	28,361	5.9	1,155	—	1,198	—	927	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △62百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 867百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△16.85	—
2020年3月期第3四半期	124.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	40,597	26,548	65.4
2020年3月期	42,905	27,203	63.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 26,548百万円 2020年3月期 27,203百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	15.00	35.00
2021年3月期	—	12.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,481	△13.6	182	△82.2	262	△78.7	140	△83.8	19.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社は、2020年11月25日付で普通株式200,000株を取得しております。2021年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該自己株式取得の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	7,950,000株	2020年3月期	7,950,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	766,609株	2020年3月期	566,609株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	7,338,947株	2020年3月期3Q	7,443,399株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により経済活動が大幅に制限され、急速に景気の減速が進みました。緊急事態宣言解除後、経済活動は段階的に再開されたものの、再び感染拡大により企業の設備投資が減少するなど、先行きが極めて不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループの各セグメントの概況は以下の通りであります。

(情報・印刷・産業システム機材)

情報・産業システム機材は、業務用ろ過フィルターの販売は飲食業の休業による飲料需要の減少影響を受けましたが、テレワークの拡大に伴い電子化機器の販売と文書のデジタル化事業の受注が伸長し、概ね順調に推移いたしました。

印刷システム機材は、各種イベントの中止や店舗の営業自粛等により商業印刷物の需要が減少し、印刷材料の販売が落ち込みました。また、印刷機器の販売も感染症の再拡大による設備投資意欲の減退により、低調に推移いたしました。

(金融汎用・選挙システム機材)

金融汎用システム機材は、貨幣処理機器の販売が金融機関や運輸業界などの設備投資抑制の影響により落ち込みました。

選挙システム機材は、全国の地方選挙向けに投票用紙交付機や読取分類機などの機器の販売が順調に推移しました。また、投開票管理システムの販売についても概ね順調に推移いたしました。

(紙・紙加工品)

紙・紙加工品は、医薬品向け紙器用板紙の販売は伸長しましたが、感染症再拡大に伴う経済活動の停滞やテレワークの拡大により印刷用紙や情報用紙の需要が縮小し、低調に推移しました。

(不動産賃貸・リース事業等)

不動産賃貸業、リース事業等は堅調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高217億71百万円（前年同期比23.2%減）、営業損失3億1百万円（前年同期は営業利益11億55百万円）、経常損失1億99百万円（前年同期は経常利益11億98百万円）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億23百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益9億27百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産の残高は302億91百万円となり、前連結会計年度末より25億17百万円減少いたしました。

減少の主な要因は、現金及び預金の減少（20億47百万円）及び受取手形及び売掛金の減少（8億10百万円）であります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末の固定資産の残高は103億5百万円となり、前連結会計年度末より2億10百万円増加いたしました。

増加の主な要因は、時価の上昇による投資有価証券の増加（1億2百万円）であります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債の残高は122億37百万円となり、前連結会計年度末より15億31百万円減少いたしました。

減少の主な要因は、支払手形及び買掛金の減少（4億55百万円）、電子記録債務の減少（2億84百万円）、未払法人税等の減少（2億84百万円）及び賞与引当金の減少（2億16百万円）であります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末の固定負債の残高は18億11百万円となり、前連結会計年度末より1億21百万円減少いたしました。

減少の主な要因は、役員退職慰労引当金の減少(98百万円)であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産の残高は265億48百万円となり、前連結会計年度末より6億55百万円減少いたしました。

減少の要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失1億23百万円、剰余金の配当1億99百万円及び自己株式の取得3億93百万円。増加の要因は、その他有価証券評価差額金の増加(76百万円)であります。

この結果、自己資本比率は65.4%(前連結会計年度末は63.4%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染再拡大により、「緊急事態宣言」が再度発令され、各セグメントにおいて様々な影響が予想されますが、現時点では2020年10月27日付「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。感染拡大の長期化、深刻化による経済の急速な停滞など、新たに連結業績予想に見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,180	18,132
受取手形及び売掛金	9,319	8,509
商品及び製品	2,442	2,476
仕掛品	69	106
原材料及び貯蔵品	429	507
その他	404	592
貸倒引当金	△36	△32
流動資産合計	32,809	30,291
固定資産		
有形固定資産	3,647	3,580
無形固定資産	409	423
投資その他の資産	6,038	6,302
固定資産合計	10,095	10,305
資産合計	42,905	40,597
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,073	4,618
電子記録債務	3,397	3,113
短期借入金	3,516	3,516
未払法人税等	291	6
賞与引当金	413	197
その他	1,076	786
流動負債合計	13,768	12,237
固定負債		
退職給付に係る負債	224	219
役員退職慰労引当金	971	872
その他	736	719
固定負債合計	1,932	1,811
負債合計	15,701	14,049
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,208	1,208
資本剰余金	2,005	2,005
利益剰余金	24,818	24,495
自己株式	△696	△1,089
株主資本合計	27,335	26,619
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△32	44
退職給付に係る調整累計額	△99	△115
その他の包括利益累計額合計	△132	△71
純資産合計	27,203	26,548
負債純資産合計	42,905	40,597

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	28,361	21,771
売上原価	21,530	16,952
売上総利益	6,830	4,819
販売費及び一般管理費	5,675	5,120
営業利益又は営業損失(△)	1,155	△301
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	42	39
持分法による投資利益	26	19
貸倒引当金戻入額	0	0
その他	40	69
営業外収益合計	112	129
営業外費用		
支払利息	24	24
貸倒引当金繰入額	31	—
退職給付費用	11	—
その他	2	2
営業外費用合計	70	27
経常利益又は経常損失(△)	1,198	△199
特別利益		
投資有価証券売却益	20	—
特別利益合計	20	—
特別損失		
会員権売却損	—	1
特別損失合計	—	1
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,218	△201
法人税、住民税及び事業税	203	34
法人税等調整額	87	△111
法人税等合計	291	△77
四半期純利益又は四半期純損失(△)	927	△123
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	927	△123

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	927	△123
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17	76
退職給付に係る調整額	△41	△15
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△59	60
四半期包括利益	867	△62
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	867	△62

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

第1四半期連結会計期間の四半期報告書の(追加情報)に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	情報・印刷・ 産業システム 機材	金融汎用・選 挙システム機 材	紙・紙加工品	不動産賃貸・ リース事業等	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	15,152	5,808	7,203	196	28,361	—	28,361
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	88	61	34	213	398	△398	—
計	15,241	5,869	7,237	410	28,759	△398	28,361
セグメント利益又は損 失(△)	△150	1,232	△38	109	1,153	2	1,155

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	情報・印刷・ 産業システム 機材	金融汎用・選 挙システム機 材	紙・紙加工品	不動産賃貸・ リース事業等	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	12,968	2,502	6,095	205	21,771	—	21,771
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	0	—	32	226	260	△260	—
計	12,969	2,502	6,128	432	22,032	△260	21,771
セグメント利益又は損 失(△)	△114	△181	△100	93	△303	2	△301

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。